

学校教育課だより

かけはし

学校教育課だより

「かけはし」

【第1号】

令和2年4月22日発行

御殿場市教育委員会

学校教育課

新年度の始めに

教育長

勝亦 重夫



◇ 困難に立ち向かう ◇

昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。その影響で正常な形で新年度を迎えることができずとも残念です。先の見えない状況が続いていますが、時は着実に歩みを進

め、春本番となっています。子供たちにとっても、節目の時は大切な時です。困難な状況ですが、目標を持ち、前を向いていけるように御指導をお願いします。

今回の世界的な感染の拡大で感じたことをいくつかあげます。数年前に、新型鳥インフルエンザの人への感染が懸念され、世界的なパンデミックが心配されました。その際どのような対応していくかについて検討が行われ、マニュアルが作成されたことを記憶されていると思います。このマニュアルがあったにもか

かわらず、日本国内に感染症が持ち込まれ爆発的な流行を引き起こしてしまいました。危機対応はマニュアルがあるから安心ではなく、高い危機意識を持ち先手を打つ（初期対応）ことの大切さを感じました。また、グローバル化が進み、ますます国と国との距離が短くなったことを実感させられました。自分の国だけではなく全世界的な視野で物事を見て考えていく必要性を感じます。良い教訓としたいと思います。

「教師と学習者の関係」に関する要因が大きい教育効果を及ぼすということです。

◇ 大切にしたいこと ◇

学校教育の中でかけがえのないものは何でしょうか。「子供たち」であることは当然ですが、それと同時に子供たちを指導していただいている「教職員」もかけがえのない存在です。学校は、人が人を介して様々なことを学ぶ場です。学びを支える教職員の質が、その学びの質にダイレクトにつながっていきます。

ある教育学者の「教育の成果」に関する研究で興味深いものがあります。この研究では、どの要因が学習の効果に

影響を及ぼすかが調べられています。明らかにしたことには「学級規模の縮小」「習熟度別の学習」「宿題」といった要因もプラスの効果があります。それ以上に効果があったのは教師に関する要因でした。

先生の話の聞き取りやすさやわかりやすい内容、授業の目標の共有化といった「教師の明瞭さ」に関わる要因や、子供への共感や子供への傾聴、子供の主体性の尊重といった「教師と学習者の関係」に関する要因が大きい教育効果を及ぼすということです。

授業をする先生と子供との関係が良ければ、授業の質は高まり効果があることは先生方も経験的に実感されていると思います。やはり「教育は人」です。「先生はよく自分の話を聞いてくれる」「先生はよく励ましてくれる」「先生は自分を認めてくれる」それぞれの教室で、こんな子供たちの声が聞こえてくればこんなにうれしいことはありません。新型コロナウイルスの影響で、子供たちにはいろいろな声掛けが、今まで以上に必要になります。よろしくお願いします。

市教職員着任式

令和二年四月一日、二十七名の転入職員と二十三名の新規採用職員、総勢五十名の教職員の皆様を御殿場市にお迎えすることができました。

転入者代表の言葉

御殿場市立御殿場南小学校

校長 長房 浩先生

観測史上初と言われる暖かかったこの冬、肌を刺すような厳しい寒さはなかったように思います。それでも桜が咲き、色とりどりの花や緑が街を彩る様子を目の当たりにすると、新鮮な気持ちと共に新たなやる気が芽吹いてくるのを感じます。



本日は、私共二十七名の転入教職員ならびに二十三名の新規採用教職員のためにこのような式を開いていただき、誠にありがとうございます。

前任校での別れに若干心沈む部分はあったものの、今ここに立つと、この新任の地、御殿場市で新たなスタートを切り、確かな教育実績を積み上げていくんだという強い思いがみなぎってまいりました。もう三十年以上も前の話になりませんが、私は初任者としての三年間を函南町立函南小学校で過ごしました。当時の露木稔校長先生は私にこんなことを繰り返し話してくださいました。

「お前はやがて北駿の教員になる。北駿の先生方はやると決めたことは愚直なまでに徹底的にやる。その粘り強さは感動するほどだ。だからこそ素晴らしい成果を上げている。お前もそんな北駿の教員になるのだ。」

やがてわたしも北駿の教員となり、御殿場市にお世話になるのは今回で二度目ということになります。露木校長先生のお言葉は一度も忘れたことはありません。私は北駿の

教育を創り上げてきた偉大な先輩方に続く者として恥ずかしくない教員になれたのだろうか。そのことを自問自答しながら歩んでまいりました。それは、私が教職を去るまで追い求める大きな課題だと考えております。

さて、世の中は新型コロナウイルス感染症の拡大がとどまる事を知らず、私たちの日常に暗い影を落としている状況です。心身の健康のみならず、経済的な問題、また、生活の様々な部分にまで心配が広がってきています。オリンピック・パラリンピックの延期も残念でなりません。

不安は尽きません。しかし、この状況を粘り強く耐え抜き、子供たちの安全を確保しつつ、小学校においては新学習指導要領全面実施元年度、中学校においては全面実施前年度となる今年度に身に付けさせるべき確かな力を、子供たちに育んでいくことが私たちの責務です。私たち転入教職員二十七名、新規採用教職員二十三名、不慣れな部分が多く、多くの皆様に御迷惑をお掛けすることが多々あるかと思えます。しかし、一日も早く

この御殿場市にとつてなくてはならない教職員となり、皆様のために尽くしていきたいと考えております。御殿場市、いや、日本、世界の未来を託す子供たちの笑顔と幸せのために全力で取り組むつもりです。どうぞ御指導、よろしくお願いします。



以上、誠に簡単ではありますがありますが転入教職員、新規採用教職員代表の挨拶とさせていただきます。

大切なものは目に見えない

教育監兼学校教育課長兼教師区指導センター所長
勝俣 純



不安に感じた方は少なくないでしょう。当たり前の生活のすばらしさを再認識した人は少なからずいるはずです。さて、みなさんは、自分の周りのどんな「縁」を大切に生活していますか？

私たちは、様々な「縁」、言い換えれば、人と人とのつながりの中で生きています。もし、あなたが涙を流していたら、家族のだれかや職場の友人が声をかけてくれるでしょう。もし、何らかの理由で働くことができなくなっても会社や自治体が支援してくれる制度があります。私たちの周りには、目に見えない何重ものセーフティネットが張り巡らされています。

この「血縁」以外にも、住む土地に基づく「地縁」があります。近所付き合いや子供会活動などは、「地縁」を基盤とするものです。

一方で、今回の新型コロナウイルス騒動で、自分の生活がこれからも今まで通りに送れるかを

平成時代以降、血縁にしても地縁にしても、核家族化の進行やお隣さんとの距離の拡大など、希薄な人間関係が加速していることは否めません。

自分の周りに張り巡らされたセーフティネットを自ら煩わしい存在と思いついていた人も多かったと思いますが、実際、この騒動で、離れて住む祖父母に育児の協力依頼した若夫婦もいたことでしょうか。

これは、自ら距離を置いていた血縁を改めて頼った形です。インターネット上のつながりによる『縁』も生まれるなど、『縁』の様相も大きく変わりつつあります。また、当たり前だった身の周りのセーフティネット、例えば、会社による保障も、この騒動で会社自体が傾いてしまえば、あてにすることはできないことが明白になりました。

現時点では、先の見えない新型コロナ騒動ですが、人類は力を合わせて、この難局を乗り越えていくことでしよう。この騒動を受けて、社会は大きく変容しています。もし、テレワークがさらに進めば、多くの利点の陰で、会社における人と人とのつながりはより一層、希薄なものとなってしまいます。学校教育に関しては、この騒動の中、GIGAスクール構想を一気に押し進めようという意見がありま

す。この理由は、人と人が接しなくても学習が進められるという利点のみによるものです。本来の意味で生徒一人一人が健全にタブレットを活用し、深い学びができるようにしていかなければなりません。確かに、高度情報化社会となり、SNS上の『縁』という新たなつながりができま

す。この新型コロナ騒動の混乱の中で、私たちが、大切なものだったのを見失ってしまつたものは何かをしっかりと再確認していかねばならぬと感じています。

まずは、「主体的、対話的で深い学び」について再考し、学校教育は、人と人とのつながりの大切さを基盤として成立していることを再認識すべきであると考えます。

学校教育課 スタッフ紹介

今年度の学校教育課スタッフを紹介いたします。新しいスタッフは、写真付で紹介いたします。

【主席指導主事 小越 隆則】

四月より学校教育課でお世話になることになりました小越隆則です。市内の子供たちと先生方がともに笑顔で過ごせる学校づくりを目指して、自分にできることを精一杯やっています。よろしくお願いいたします。



【課長補佐(統括) 伊藤 美香】

このたび学校教育課にまいりました。教育委員会には、

これまでに教育総務課(当時は庶務課)に三年間、図書館に四年間の配属経験があり、今回で三度目のご縁となります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



【主任 渡邊 ゆかり】

昨年度に引き続き学籍を担当することにいたしました。昨年度の経験を土台に、より正確な事務手続きに努めて参ります。また、学籍にかかわる業務の事務効率化を図っていきたく考えております。今年度もよろしくお願いたします。

【副主任 勝又 教主】

学校教育課に配属されて二年目となります。勝又教主です。今年度は主に学校保健関係を担当いたします。正確で迅速な対応を心掛けて、一年間頑張ります。皆様どうぞよろしくお願いたします。

【主事 丸山 眞洋】

学校教育課に配属されて今年度が三年目になります。今年度は会計年度任用職員事務を主に担当します。二年間で学んだ事を活かし、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

【指導主事 平松 祐】

本年度も生徒指導、定数、外国語活動などを担当します。子供たちにとって、学校が安全・安心な場所、居場所を感じられる場所となるようお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いたします。

【指導主事 山路 崇仁】

本年度より学校教育課でお世話になります。主に特別支援教育、就学支援、情報関係などを担当します。子供、保護者、先生方みんなが笑顔で充実した生活が送れるよう努力していきます。よろしくお願いたします。



【指導主事 中西 直子】

本年度、研修を担当します。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、研修会の中止連絡が相次いでおります。こんな状況だからこそ、工夫した研修の在り方を提案できればと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【特別支援巡回指導員 勝又 立雄】

三年目のこの仕事になりました。各学校の要請を受けて、学校生活や授業に適切にいく子供を観察したり、時に遊んだりしながら、先生方と対応やヒントを考えています。訪問の際はよろしく申し上げます。

【就学支援指導員 岩瀬 和代】

主に園から小学校への就学支援を担当して三年目になります。学校見学・専門調査・就学相談等の個別対応を通して様々な方々の配慮や協力を得子供たちが個々に適した学びの場で、安心して小学校生活を送る姿を目にし、ほっとします。今年度も精一杯お手伝いさせていただきます。

【幼稚園指導員 瀬戸 亮策】

今年度も引き続き幼稚園指導員を務めます瀬戸亮策です。幼小のなめらかな接続に欠かさない幼稚園のアプローチカリキュラムと、園児を受け取る小学校のスタートカリキュラムの充実を目指して幼小を支援していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【市教育相談員 勝又 弥生】

今年も、子供たちや保護者に寄り添った支援、学校と結び付くような支援を心掛けていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

【教育指導センター室長 高橋 正彦】

「よりよい教え手でありたいなら、よりよい学び手でないければならない」以前お世話になった先生の言葉です。教育指導センター勤務四年目になります。学びの気持ちを忘れず、仕事に臨みたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【教育指導センター指導員 岩田 京子】

多くの授業に関われば関わるほど授業者の学びの必要性を痛感します。それは指導員自身にも言えることです。若手教師の成長に後れをとらないように、一緒に頑張ります。よろしく申し上げます。

【教育指導センター指導員 湯山 伸彦】

若い教師の意欲が学校を活気づけ、若い教師の学ぶ心が学校の授業水準を高めます。少しでも背中を押す力になれるように、初心に戻って頑張ります。よろしく申し上げます。

【教育指導センター指導員 芹澤 ゆき子】

毎回訪問するたびに、この職業の素晴らしさを感じます。子供と先生方の笑顔がいつばい見られることを目指し、先生方と共に、学び、考え「子供たちと心が通じ合う保育」を作り上げていきたいです。よろしく申し上げます。

【教育指導センター指導員 小林 博之】

今年度から教育指導センターに勤務することになりました。若い先生方の志と熱量を大切にして、授業力向上のお力になりたいと思います。「指導の手応え」が「児童・生徒の学ぶ喜び」につながる授業づくりを目指しましょう。よろしく申し上げます。

